

平和へのやくそく

那覇市立城東小学校三年 安仁屋 学都

「あつ、ヤドカリだ。」

足をもぞもぞさせてうごいている

ちいさくても生きてるんだ

手のひらにのせたら、かまれた

いたいけれど、おもしろい

いっばいつかまえて

「よい、ドン。」で

ヤドカリレースだ

おとうさんのヤドカリが、かったよ

ぼくのヤドカリは、ビリだったよ

くやしいけれど、たのしい

いっばいわらって、

いっばいあそんだ

海に帰るヤドカリたちも、うれしそう

「平和だね。」と

お母さんが言う

「しあわせだね。」と

お父さんが言う

ここは、百名ビーチ

アマミキヨと言う神さまが

海をわたってきた砂浜です

しずかで、なみの音だけがきこえます

海にはいると、冷たくてきもちいいです

ぼくは、おきなわの海が大すきです

ひいおばあちゃんが子どものころ

おきなわでせんそうがありました

海からぼくだんがとんできて

たくさん人が死にました

ひいおばあちゃんのお母さんも

ぼくだんにあたって死にました

せんそうはいやです

平和な今が大すきです どうか

せんそうがおきませんように

海はいのちが生まれる所

かなしいよりうれしいがいい

こわいよりもたのしいがいい

みんなで平和な世界をつくろうよ

あらそいのない世界をつくろうよ

六月二十三日 いれいの日

ぼくは、やくそくします

平和であらそいのない未来をつくります